

サンデンならではの価値創造に取り組み、 ステークホルダーの信頼と期待に 応えてまいります

サンデンホールディングス株式会社
代表取締役社長

神田 金栄



持株会社体制への移行

サンデングループは、「冷やす・暖める」をキーテクノロジーとして、時代とともに業務用冷凍・冷蔵ショーケース、自動販売機、カーエアコン用コンプレッサー、カーエアコンシステム、家庭用ヒートポンプ給湯機などへと事業活動を広げ、世界中のお客さまにお取引いただいております。

多様化した事業の規模やお客さまの特性に応じてさらなるグローバル成長を実現していくためには、グループ全体の企業価値を最大化する経営体制の再構築が必要であると判断し、2015年4月1日より持株会社体制へと移行いたしました。

持株会社体制移行後、各事業会社の責任・権限がさらに明確になったことで、意思決定のスピードが速まり、お客さまとの距離が着実に近くなってきていると実感しております。今後もサンデングループの活力を結集し、ステークホルダーの皆さまから信頼される「グローバル・エクセレント・カンパニーズ」となるべく邁進してまいります。



マテリアリティ策定への取り組み

2003年の創立60周年を機に、サンデングループの普遍的な価値観や基本姿勢を体系化し、企業理念として制定しました。2011年には、この企業理念の実践こそがサンデングループのCSRであると位置付け、社員一人ひとりが日々の業務の中で常に意識して行動するようにしています。

そして2014年度、持続的な発展が可能な社会とそのさらなる成長を目指し、ステークホルダーの皆さまからの期待を反映したCSR重点課題（マテリアリティ）を明確にすべく取り組みを開始しました。昨年設立したCSR推進委員会が中心となり、社会の要請を勘案しながらあらゆる角度からサンデングループの課題の抽出を行っています。本報告書の特集では、その取り組みについて紹介しています。

経営方針を軸に展開

サンデングループでは、「グローバル力と品質力を基礎に環境をコアにして次の成長を果たす」という経営方針を掲げております。この方針のもと、海外23カ国・地域、54拠点に展開する「グローバル力」と、当社独自の全社品質改革活動STQM(Sanden Total Quality Management)により築き上げてきた「品質力」を基礎に、「環境」をコアにした技術・製品開発と社会貢献活動を通じて、事業の成長および地域社会の発展のため、日々邁進しております。

2002年に「環境と産業の矛盾なき共存」をコンセプトに開設したサンデンフォレスト・赤城事業所においては、2014年3月に、SEGES※(シージェス: Social & Environmental Green Evaluation System: 社会・環境貢献緑地評価システム)の最高位である「Superlative Stage」に全国で7番目に認定されました。また、同年10月に韓国で行われたCOP12において、サンデンフォレストでの生物多様性の取り組みについて発表いたしました。

今後も、かけがえのない美しい地球を次の世代の人々に引き継ぐために、企業活動のあらゆる面で環境の保全に配慮して行動してまいります。

※SEGESについてはサンデンホームページをご覧ください。



社会から信頼され続ける企業に向けて

2015年4月より、持株会社体制へ移行しましたが、行動の原点は一貫して創業の精神である「知を以て開き、和を以て豊に」にあります。これは、「知力により開発・開拓し、みんなの力を合わせ繁栄しよう」ということです。今後も、時代の変遷の中で、常に挑戦を忘れず自らを変革し続け、全社員が一丸となって、社会と時代のニーズに合った製品、システム、サービスを提供してまいります。

2015年1月に公表いたしました通り、自動車空調用コンプレッサーの販売に関する米国司法省との司法取引に合意しました。当グループは、この事態を極めて厳粛に受け止め、コンプライアンス体制のさらなる徹底と強化を進めてまいります。

社会から信頼されるサンデンブランドの確立に向けて、これからもあらゆる機会においてステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを深めてまいりたいと思っております。率直なご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

知を以て開き、和を以て豊に